

艇友

<本号の内容>

- | | |
|------------|---------|
| 1 会長等挨拶 | 4 その他 |
| 2 27年度総会報告 | |
| 3 ボート部紹介 | ★TOPICS |



1 会長等挨拶



防衛大学校艇友会 会長挨拶

全国の艇友会員の皆様には、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。会長の21期（航空）山崎剛美です。会長を拝命してから3年目に入りました。今年度は副会長以下が若返りました。特に、長い間、名簿及びHPを担当して頂いた篠田理事の後任が見つかり、安堵しています。新役員ともども、艇友会の円滑な活動に努めてまいります。

今年度から新たな取り組みとして、総会懇親会において「入会式」を始めました。卒業生に、ネクタイ、エンブレム、Tシャツの3種の神器に加え「入会のしおり」を渡し、卒業生からは入会金に加え、携帯電話の番号やアドレス等の名簿を、艇友会に渡して頂くものです。入会のしおりには、艇友会の会則、主要な活動、会費納入要領、異動時の通知要領等を記載しました。これにより、新たに入会する艇友会員の会員意識の向上を図り、艇友会の長期的な活動の活発化に寄与すると期待しています。

防大ボート部は、宮田主将を中心に活動を実施し、5大学レガッタではエイトで参加しましたが、練習不足が結果に表れ残念でした。9月に予定されている全日本大学選手権大会やオックスフォード盾大会での成績を期待したいと思います。なお、5大学レガッタで、OBエイトは、ヤングが熊本地震のため参加出来ませんでした。その分、シニアが優勝しました。

さて、来年4月29日に行われる5大学レガッタは、60周年記念レガッタで防衛大学校が当番校（つまり大会会長は防衛大学校長）です。もちろん、運営の主体は、ボート部長及びボート部員なのですが、現在、学校職員に艇友会員がいないこと、及び研究科に在籍する会員も後期課程履修者のため論文作成で多忙なことから、ボート部を指導したり、相談に乗ったりする者がいない状況です。そこで、5大学レガッタを成功裏に開催するためには、艇友会のサポートが不可欠であると考えています。ボート部発足50周年の際には、防大の監督・顧問グループと市ヶ谷の副会長・理事補佐グループが企画運営をして成功させたことは多くの艇友会員の記憶にも残っていると思いますが、それに匹敵する努力が必要と考えています。出来るだけ早い時期に準備体制をとりたいと考えていますので、艇友会員におかれましても協力のほど宜しくお願いします。

また、校友会活動を取り巻く環境が年々厳しくなる中でも、現役学生諸君が、厳しい練習に打ち込み、成果を上げることができるよう、引き続き物心両面の支援を継続していきたいと考えております。今年度は、会費と新艇等購入の寄付に加え、隅田川ボート記念碑への募金もお願いすることになりますが、何卒、本趣旨にご賛同を頂き、ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

更に、5大学レガッタ等の大会の応援も現役諸君の励みになりますので、お誘い合わせの上、参加下さるようお願いいたします。特に、5大学レガッタは、毎年4月29日の実施が定着していますので、是非とも予定表に記入して頂き、応援を宜しくお願いいたします。

「艇友」や「防大ボート部OB会ホームページ」が、現役学生諸君や艇友会の活動状況に関する

紹介や会員相互の情報共有に活用されることを期待しています。私は、艇友会が現役学生諸君の活動をしっかり支援するとともに、明るく楽しい会として継続するために微力を尽くす所存でありますので、会員の皆様には、引き続き艇友会に対し絶大なご支援を頂きますよう重ねてお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

防衛大学校艇友会会長 山崎 剛美



防衛大学校ボート部 部長挨拶

昨年度から部長職を務めることになった熊谷です。機械工学科に所属しております。平成11年4月に着校しましたので、防大生活も早いもので18年目に入りました。この度、学生にとって大切な校友会活動に参加することが出来て、大変嬉しく思っています（今まで16年間も校友会活動をサポートしていなかったのか？といった厳しい御指摘は別の機会に）。機械・機械システム工学科に所属しているボート部員には、ボート活動以外に講義や卒業審査等を通じて触れ合う機会があります。そういう状況もまた楽しいもので、教える方も一段と熱が入ってしまうものと実感しております。ただし、定期試験等では『愛の鞭』が強くなりすぎない様に心がけております。また、年に4回の校友会部長会議に参加し、予算配分、文化部活動との両立問題等、学校全体の校友会活動を広い視野で見直す貴重な機会を得ることが出来ました（毎回、白熱した議論が交わされて、すんなりと終わることがなく、各部長の校友会に対する情熱に圧倒されております）。これからもボート部代表として頑張ります。

近況報告（挨拶と言うよりも）はさて置き、来年度は、防大が5大学レガッタの当番校となります。艇友会の皆様方には、今までも物心両面から暖かい御支援を賜っております。来年度の5大学レガッタを成功させるためには、引き続き皆様の御支援が不可欠です。よろしく願い申し上げます。

防衛大学校ボート部部長 熊谷 達夫



防衛大学校ボート部 監督挨拶

52期陸の松本です。防大理工学研究科後期課程学生として防大に在籍しております。今年は、博士課程の最終学年ということもあり、研究に専念させてもらっております。このため、役員の方々、特に菘総務理事にはお世話になっております。今年度は思うような指導や支援が出来ておらず申し訳ありません。

このような状況でありますので、簡単に部員数の紹介のみさせていただきます。現在、4学年が5名、3学年が9名、2学年が13名、1学年が4名の計31名です。人数は、去年の部員数から10名減っております。

今回このような事を書くのも恐縮なのですが、皆さんもお時間が許すようでしたら、試合の応援や総会・懇親会には是非お越し下さい。現役の部員は、艇友会の方が、試合の応援や総会・懇親会に足を運んで下さる姿を見て感化されております。それが艇友会と現役の学生との繋がりになると思いますし、新たに艇友会に入会したときの活動の活力になると思います。

艇友会の皆様方には、平素から物心両面にわたり暖かいご支援を賜っております。その感謝の念を忘れず練習に励んでいく所存です。引き続き皆様の多大なる応援、叱咤激励をいただきたく、学生に代わりお願い申し上げます。

防衛大学校ボート部監督 松本 隆志

2 平成27年度総会報告

次のとおり実施しました。細部は、「防衛大学校ボート部OB会ホームページ艇友」をご参照ください。

アドレス：<http://ndahashirimizu.justhpbs.jp/>

(1) 平成27年度事業報告

時 期	事 業 名	内 容	備 考
2月18日	理 事 会	・平成26年度事業及び会計報告 ・平成27年度事業及び予算計画審議、総会打合等	防大同窓会 事務局会議室
3月1日	総会・懇親会	・平成26年度事業・決算、平成27年度事業・予算 計画等承認、新入部員勧誘支援金贈呈	クラブ水交 56名参加
3月～12月	月例練習	・毎月第1日曜日（鶴見川漕艇場は、27年6月22 日以降休止（台風不具合のため））	鶴見川漕艇場、5大学 OBミドル合同練習
3月16日	臨時理事会	・熊谷准教授ボート部長就任等	NPO法人 JPSSO 四谷本部会議室
3月24日	春合宿支援	・支援金贈呈	戸田漕艇場
3月26日	防大訪問	・熊谷准教授、防大訓練部長表敬	防大
4月1日	新ボート部長就任	・システム工学群 熊谷教授	防大
4月29日	五大学レガッタ	・OBレース参加、応援	戸田漕艇場
7月1日	「艇友」発行		322通
8月17日	夏合宿支援	・支援金贈呈	戸田漕艇場
8月21日	全日本わか、ワッ盾応援	・応援	戸田漕艇場
10月31日	東京海洋大学70 周年記念祝賀会	・OB参加（山崎会長以下4名）	グランドヒル市ヶ谷
11月8日	戸田マスターズレガッタ	・OB参加（矢島OB、大橋OB）	戸田漕艇場
11月15日	紅葉レガッタ	・応援	宮ヶ瀬湖
11月21日	五大学OBOG懇親会	・講演会、懇親会へのOB・学生参加（14名）	筑波大学キャンパス
12月1日	横浜市民ボートマラソン	（鶴見川漕艇場休止のため中止）	鶴見川漕艇場

(2) 平成27年度会計決算報告

収 入 (円)			支 出 (円)			
1	昨年度からの繰越	1,221,729	1	合宿支援費	100,000	春夏合宿
2	OB年会費・寄付	500,000	2	監督・コーチ指導料	0	実費：28年度支払
3	新規入会金	110,000	3	新入生勧誘支援	30,000	
4	新艇購入積立金	270,000	4	総会・懇親会支援	211,190	
			5	HP運営費	10,000	
			6	艇友発行費	73,989	
			7	通信連絡費	20,800	
			8	雑 費	39,792	・五大学OB会支援 ・審判員試験支援等
			9	予備費	34,561	・弔電（故林様） ・ご仏前の品（故藤間様） ・東京海洋大学70周年行事 ご祝儀
合 計		2,101,729	合 計		520,332	
残金（次年度繰越）			1,581,397（新艇積立金475,000円含む）			

(3) 平成28年度事業計画

時 期	事 業 名	内 容	備 考
2月7日	理 事 会	・平成27年度事業及び会計報告 ・平成28年度事業及び予算計画審議、総会打合等	グランドヒル市ヶ谷
2月28日	総会・懇親会	・平成27年度事業及び決算、平成28年度事業及び予算計画等承認、春合宿、新入部員勧誘支援金贈呈	クラブ水交 (原宿東郷会館)
3月～12月	月例練習	・毎月第1日曜日(鶴見川漕艇場再開(4月10日)までは戸田漕艇場)	鶴見川漕艇場、5大学 OBミドル合同練習
3月26日 ～27日	お花見レガッタ	・応援	戸田漕艇場
4月29日	五大学レガッタ	・OBレース参加、応援	戸田漕艇場
5月29日	理事会	・艇友発行準備	グランドヒル市ヶ谷
6月25日 ～26日	東日本選手権	・応援	戸田漕艇場
7月	「艇友」発行		
8月	夏合宿支援	・支援金贈呈	戸田漕艇場
9月22日 ～25日	全日本インカレ、ワックス フォード盾レガッタ応援	・応援	戸田漕艇場
10月22日 ～23日	東日本新人選手権	・応援	戸田漕艇場
11月20日	紅葉レガッタ	・OB、学生参加	宮ヶ瀬湖
11月27日	五大学OB・OG懇親会	・OB、学生参加	東京海洋大学 (越中島)
12月4日	横浜市民ボートマラソン	・OB、学生参加	鶴見川漕艇場

※ 平成29年度の5大学レガッタ当番校を見越してボート部OBから審判長要員の選定と養成(資格取得等)に関し検討し、大会に貢献する。

(会員の皆様におかれましては、上記事業計画を予めご予定にお入れ下さい。)

(4) 平成28年度予算執行計画

収 入 (円)			支 出 (円)			
1	昨年度からの繰越	1,581,397 (新艇積立金 475,000含む)	1	合宿支援	100,000	春・夏合宿
2	OB年会費・寄付	500,000	2	監督・コーチ指導料	30,000	
3	新艇購入積立金	300,000	3	新入生勧誘支援	30,000	
4	新規入会金	90,000	4	総会・懇親会等支援	160,000	
			5	HP運営費	10,000	
			6	艇友発行費	80,000	
			7	通信連絡費	30,000	
			8	雑 費	50,000	
			9	予備費	60,000	
合 計		2,471,397	合 計		550,000	
残金(次年度繰越)			1,921,397(新艇積立金775,000円含)			

(5) 新艇購入積立金(単位:千円)

平成年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
積立収入	340	300	270	(300)	(300)	(300)	(300)	(300)
購入支出	435 フォア						(1650) エイト	
積立残高	▲95	205	475	(775)	(1,075)	(1,375)	(25)	(325)

※()内は目標

(6) 平成28年度役員

会 長：山崎剛美（21期空）
 副 会 長：槻木新二（24期海）、中畑康樹（30期海）兼現役自衛官担当
 理 事：米村義一（21期陸）会計担当、保泉哲也（26期海）名簿担当、
 萩 知幸（29期陸）総務担当・月例練習等担当、中内秀治（48期空）HP担当
 監 事：平木剛治（19期空）監査担当
 監 督：松本隆志（52期陸）（当分の間、萩が代行）
 理事補佐：

氏 名 (期)	担 当	氏 名 (期)	担 当
出端雅春(35期空)	現役自衛官担当(正) 月例練習等担当	山野満男(47期空)	監督補佐、コーチ(副)
山田大作(46期陸)	現役自衛官担当(副)	高垣内隆夫(49期空)	名簿担当補佐
作中昌和(45期海) (石田浩太郎(44期海) は28.3異動のため転出)	現役自衛官担当(副)	上野裕稔(52期空)	顧問、総務、会計補佐
中濱直人(47期空)	監督補佐、コーチ(正)	吉村 龍(55期空)	顧問、総務補佐

(7) 平成27年度防大艇友会総会・懇親会

平成28年2月28日、クラブ水交（原宿）において68名（OB29名、学生39名）
 に参加して頂き、総会・懇親会が実施されました。



後列(敬称略)：26N 保泉、21N(筑波)宮崎、52A 松本、30N 中畑、47F 山野、57A 菊地、24N 槻木、21N 清水、20N 大河戸、
 19F 平木、20A 西村、18A 松下、18A 西堀、21N 今田、21A 米村、23A 溝越、35F 出端、29A 萩
 中段(敬称略)：13A 篠田、8N 矢島、7A 寺本、5F 大橋、6A 鶴野、21F 山崎、熊谷、7N 石神、13N 靄田、18N 松岡

3 ボート部紹介 (一部については総会報告を行いました。)

(1) 部員数 計 31 名 (平成28年5月31日現在)

4 学年 (6 1 期) 5 名 3 学年 (6 2 期) 9 名
2 学年 (6 2 期) 1 3 名 1 学年 (6 4 期) 4 名

(2) 平成27年度の活動・大会結果

4 月 五大学レガッタ

フォア : 1 着 / 2 艇

7 分 3 7 秒

女子シングル : 4 着 / 4 艇

1 0 分 0 3 秒

6 月 東日本選手権大会

フォア : 予選 5 着 / 5 艇 7 分 5 2 秒 Final D 5 着 / 5 艇 7 分 4 9 秒

エイト A : 予選 5 着 / 5 艇 6 分 5 7 秒 Final C 1 着 / 3 艇 6 分 4 9 秒

エイト B : 予選 4 着 / 5 艇 6 分 3 8 秒 Final B 6 着 / 6 艇 6 分 4 2 秒

8 月 夏合宿 (6 日 ~ 2 3 日)

全日本大学選手権大会

フォア : 予選 5 着 / 5 艇 7 分 1 0 秒 敗復 4 着 / 5 艇 7 分 2 0 秒

オックスフォード盾

エイト : 予選 2 着 / 6 艇 6 分 3 2 秒 準決勝 4 着 / 4 艇 6 分 4 2 秒

1 0 月 東日本新人選手権大会 (1 0 0 0 m)

女子シングル : 2 着 / 6 艇

4 分 1 2 秒

エイト : 4 着 / 4 艇

3 分 1 5 秒

(3) 平成28年度の活動予定

3 月 春合宿 (3 月 2 2 日 ~ 2 7 日)、お花見レガッタ (3 月 2 6、2 7 日)

4 月 五大学レガッタ (2 9 日午後) エイト、ナックル×2 出艇

6 月 東日本選手権 (2 5 日 ~ 2 6 日)

8 月 夏合宿

9 月 全日本大学選手権大会、オックスフォード盾レガッタ (2 2 日 ~ 2 5 日)

1 0 月 東日本新人選手権大会 (2 2 日 ~ 2 3 日)

1 1 月 宮ヶ瀬紅葉レガッタ及び大会運営支援

1 2 月 横浜市民ボートマラソン (4 日)

4 その他 (会費納入のお願い)

平成27年度は、会員の皆様の会費納入に対するご協力によりまして、艇友会の活動も滞りなく実施できましたことを心から感謝申し上げます。また、27年度は会費納入率向上のため、各種の働きかけを致しまして、僅かながら増加したものの未だ低迷の状況にあります。何卒、本「艇友」をご覧頂きました会員の皆様におかれましては、ご自身の会費納入はもとより、同期の方、或いは部隊内の会員にお声掛け頂きますよう、お願い申し上げます。

今年度は、会費納入促進策として、10月に会費納入状況を確認し、各期責任者に納入状況を知るとともに、納入促進を依頼することを考えております。

会費納入の要領につきましては同封の振込用紙の使用して頂き、「艇友」の電子メール受領又は紛失された方は、最寄りの郵便局で下記口座にお振込み頂きますようお願い申し上げます。

*口座番号 : 00270-8-6064

*口座名称 : 防衛大学校 艇友会

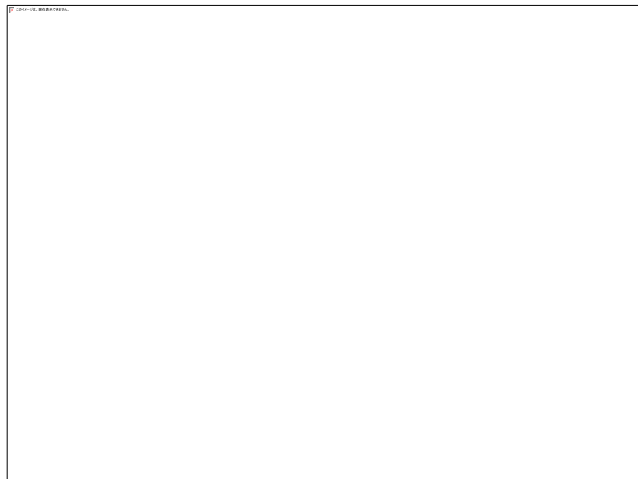
(28年度会費、新艇購入費 : 105000円 隅田川ボート記念碑募金 : 101000円)

TOPICS

第59回 五大学レガッタ

第59回五大学レガッタ（28年4月29日（金）（於 戸田オリンピックコース））

今年は晴天となったものの大変な強風に見舞われて、男女シングルスカルなど3レースが中止となり、レース距離500mの新人ナックル戦、OBエイト、現役対校クルーによる女子ダブルスカル戦と男子エイト戦が行われました。東京海洋大学を当番校として、防大も準備・運営に当たりました。防大からは、OBエイト（シニア）、新人ナックルフォア（2艇）、女子シングルスカル（強風のため中止）と男子エイトに出場しました。結果については、OBエイト（シニア）が1分53秒20で優勝（2位：東京工業大1分55秒69、3位：東京外国語大1分57秒20、4位：筑波大1分59秒08、5位東京海洋大2分02秒42）、新人ナックルフォアが、3位（5艇中）と4位（5艇中）、エイトは5位（1位：東京外国語大6分24秒48、2位：東京工業大6分33秒07、3位：東京海洋大6分35秒23、4位：筑波大6分57秒11、5位：防衛大7分19秒34）となっております。



最左が東京外国語大、中央が東京工業大、手前が東京海洋大

奥が筑波大、手前が防衛大

下記に、レース参加者を代表しまして宮田主将と中畑副会長のコメントを紹介します。

宮田主将：今年は、様々な制約を克服し、去年叶うことが出来なかったエイトでの出場となりました。防大エイトのクルーは仲が良く、また各人がしっかりと意見を持っているため、毎回のミーティングは密度の濃いものとなり、次回の乗艇練習で一層上達するという好循環で本番に臨めました。5大学レガッタ当日、天気は良いものの瞬間風速が10メートルを超えるという、漕ぐには最悪のコンディションの中でのレースでした。それによりクルーは思うように力を発揮することが出来ませんでした。しかしながら、他大学のクルーも同じ状況であるため、結果は結果としてしっかり受け止め、今後活かします。支援及び応援をして下さったOBの方々、本当にありがとうございました。次は9月のインカレで結果を出せるように部員一同日々精進して参ります。

中畑副会長：個人的には、前回当番校だった2012年以来4年振りの参加でした。戸田では経験した事の無い様なラフなコンディションの下、ほとんどぶっつけ本番で見事OBエイト（シニア）優勝。私としては2連勝になりました。全体としては、当番校となる来年に向けて課題の多く見つかった5大学レガッタになったと思います。私が現役の頃に比して様々な制約がある様ですが、防大ボート部の一層の活躍のため、微力ながら支援をしていきたいと思っております。



OBエイト（シニア）参加クルー（国立艇庫前にて）



OBエイト（シニア）優勝賞状を囲んで（大会本部前にて）

現役学生の声

現在ボート部は、新入部員として1学年4名を迎え入れ、また、新2学年のカッター競技会も無事終わり、本格的にボート部としての活動を開始しました。

現役学生の声といたしましては、日頃の練習については、技術指導をしていただけるコーチの方の力が欲しいということです。学生間で、漕ぎの矯正、指導等はもちろん行っておりますが、やはり限界があるということを含め、ご検討いただくと幸いです。また、他大学との合同での練習等も出来たら良いという声も上がっております。

以上、我儘な部分も多分にありますが、どうぞご検討のほど、または知恵をお貸し頂ける様、よろしくお願い申し上げます。

61期ボート部一同

隅田川ボート記念碑への募金

鶴野先生から艇友会の皆様へ、「隅田川ボート記念碑」建設に対し、建設募金に関するお願いがあります。何卒よろしくご協力をお願い致します。

細部は、別添「隅田川ボート記念碑」建設寄付依頼状」をご覧ください。
(隅田川ボート記念碑建設の趣旨)

日本のボートの発祥地、そして日本ボート競技の中心地であった隅田川の記憶を末永く留め、今後のボート発展の導にも為すべく、隅田川河畔にその記念碑を建設する。

(発起人：半藤一利（作家：東京大学淡青会S28年卒）)

謝辞等

今年も梅雨の季節となり、毎日天気がすぐれない今日この頃です。関東地方は、雨が例年より少なく水不足が心配されますが、艇友会の会員の皆様、如何お過ごしでしょうか。

今年度も、無事「艇友」を発行することができました。これも、皆様のご協力のおかげと深く感謝致します。

特に、「艇友」編集に当たり支援を頂きました理事会の方々、発送作業を手伝ってくれた防大の松本監督、上野顧問、現役ボート部員の諸君に御礼申し上げます。ありがとうございました。

総務理事 萩 知幸（29期陸）